

4. 広島市南区最高峰

安芸小富士 (277.8m)

広島市南区



広島湾に浮かぶ似島の北にそびえる山で広島港側から見ると、富士山に似た形をしていて江戸時代、絵や詩歌で愛でられた。明治になって軍関係の検疫所が南麓に造られた。

広島市南区	2017,4,1 推定
<面積>	26.30 km ²
<人口>	143,712人
<人口密度>	5,460人/km ²

【山行日】2月2日(日) ☆ 天候：曇り、晴れ

【参加者】16名 CL得本真人 SL田所明子

宮木(澄) 三村 吉岡 安永 原田 若林 曾田 新江 松本 藤原 林 大坂 横見
体験：上野

【コースタイム】

広島港 9:30 → 似島学園前 9:50 → 下高山 11:30~11:40 → 墓所 12:30 → 安芸小富士
頂上 13:25-13:55 (昼食) → 似島学園 14:35 ~ 乗船：14:50 → 広島港 15:10 解散

【報告】

創立30周年、記念登山27座目は、広島市南区の最高峰 似島の安芸小富士です。やまぼうでは、2年ぶり。2年前は乗船代が、380円でしたが、60円アップとなっていました。15名から団体扱いとなり、800円の前払いでの往復でした。

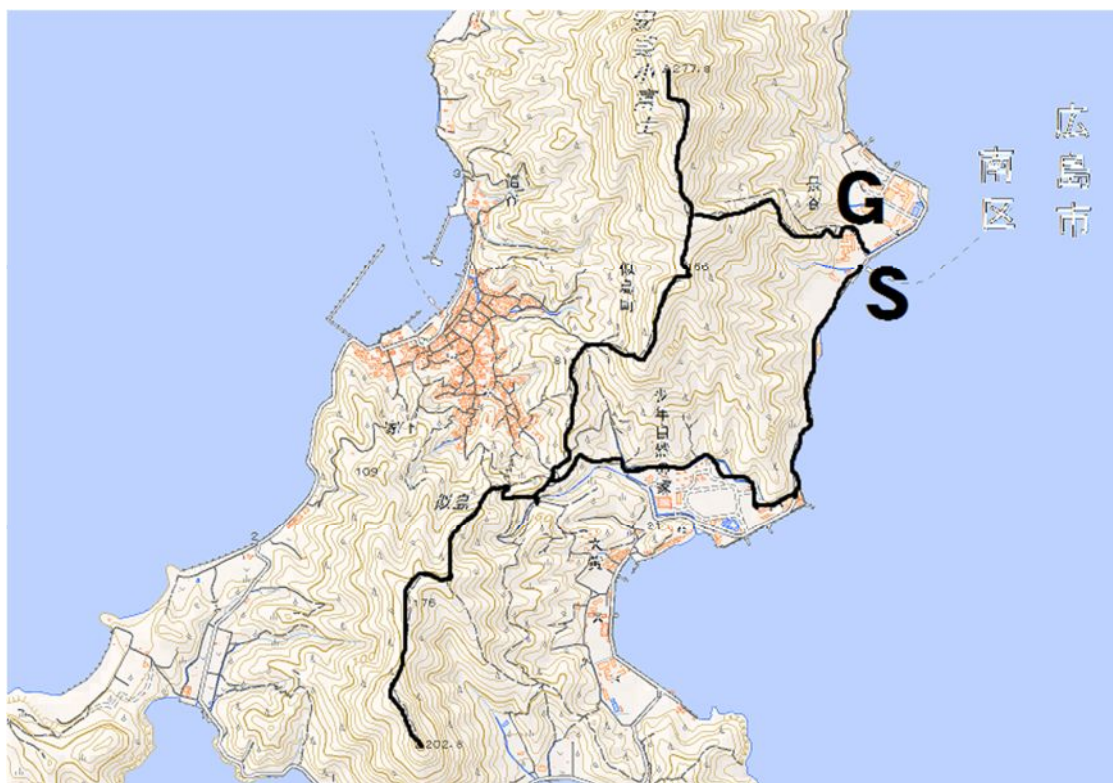
似島が、バームクーヘンの発祥の地であることを知らない人もあるかと・・・

又、戦争にかかわる施設跡があちこちに見られました。

西峰の下高山(203m)～東峰の小富士への歩み冬の1日としては丁度良い山行かと。

下高山からの移動時、柑橘畑で八朔を3個100円で求めたり、楽しい1日でした。

(記 田所明子)



安芸小富士のある似島はサッカーで有名な島だった・・・？

戦後まもなく、サッカーが現在のようにポピュラーなスポーツではなかった頃、似島の子どもは幼い時からサッカーボールで遊び、似島中学校では殆どの子どもがサッカー部に所属していると噂されていた時代があった。実際、似島中学校はサッカーの強豪校だった。

サッカーが盛んになったのは、似島の検疫所に収容されていたドイツ人捕虜によるものと言われる。(ちなみに日本でバームクーヘンが初めて焼かれたのも、似島に収容されていたドイツ人によるもので、似島はバームクーヘン発祥の地とされている。)

戦後、検疫所跡の一角に、町をうろつく原爆孤児のための施設「似島学園」を森芳麿氏が創る。森氏はもともと福山の教師だったが、家族ともども似島に転居し、孤児たちと奮闘する。森氏の息子が、森健児氏、森孝慈氏である。似島に育ったことに起因しているのか2人とも子どもの頃からサッカーに熱中し、日本サッカー界にはなくてはならない存在になる。

健児氏は高校時代に国体優勝、大学でも選手として活躍。社会人となってからは、選手としてより、サッカーの環境改善に力を尽くし、Jリーグ発足にも尽力。

孝慈氏は高校時代に国体優勝、全国高校サッカー選手権では釜本選手を擁する高校を破って優勝するなど活躍する。メキシコオリンピックでは釜本選手らと日本代表になり、銅メダルを獲得する。引退後は後進の育成、サッカーのプロ化に努め、浦和レッズの生みの父と言われる。

安芸小富士から下山すると「似島学園」に出る。この学園の中には、いろいろな遺跡や造築物がある。森芳麿氏の銅像もある。それを見ると草創期の似島学園の大変さを思うと同時に2人の息子さんのことを思う。広島の高校は野球だけでなくサッカーも強かったのだ。

森芳麿氏銅像



ドイツ人捕虜とサッカー

～似島臨海少年自然の家 説明板より～



南区最高峰 安芸小富士山頂で



今までやまぼうしで登った南区の
他の山

下高山